48・BSM-1350L-3/1550L-3 シリーズ
ハリマーク

1 BSM-50L

2 MARUYAMA

3 チェーン張り調整

4 油圧配管系統図

5 配管系統図

6 給油一覧表

No	給油項目	使用オイル	容量	時期(公園用)	回数(公園用)
1	ギヤケース	ギヤオイル90番	0.6L	50	600
2	油圧ポンプ クランクケース	30CD10W-30 5W30以上	2.0L	50	100
3	油圧ポンプ シリンダ&ピン	3～5回	給脂量	給脂量	
4	オイルタンク (ドロ抜部)	油圧作動油(油圧用油) (ISO VG32)	4.0L	50	600
5	電動式減圧弁軸ピボット	シャーシグリース	3回	20	20
6	ナット				200
7	ボルト ボルト ボルト ボルト	ギヤオイル90番	3～5回	20	200
8	ラジバン				
9	昇降シリンダ(ムカデ)				
10	首ポンシリンダ(ムカデ)	シャーシグリース	適宜	20	20
11	開閉リンク(ムカデ)				
12	スプリングピン(ムカデ)				

7 注油

8 注油

9 常用圧力 2MPa

10 ポンプ回転速度 620

11 取扱要領
散布作業を停止、もしくは終了させる場合は、メインコックを（停止）の位置にしてからトラクタのPTOを切ること。

12 ドレンコック取扱
排水
停止
アームを強ってロックを解除し排水の作業にする

13 H L

14 100
15 200
16 300
17 400
18 500
19 600
20 700
21 800
22 900
23 1000
24 1100
25 1200
26 1300

1500L
27 1400
28 1500

29 注意
薬剤の取扱い注意
使用する薬剤の取扱説明書をよく読んで正しく使用すること。

30 警告
スタンドを降ろすときはスタンドに手を添えてからピンを抜き、ゆっくりと降ろすこと。

31 注意
PTO定格回転速度 330rpm
230～380rpmの範囲で作業すること。

32 警告
作業半径内立入禁止
最大作業半径18m

33 警告
● 清水タンクは飲料用として使用しないこと。
● 服装は、体に合ったものを着用すること。
保護衣・保護メガネ・ゴム手袋・作業靴(長靴)等を用意し、安全な服装で作業すること。

34 警告
● ブームスプレーヤの取付け取外しを行う場合、薬剤タンクは空の状態で行うこと。
● 転倒のおそれがあるため、急発進・急旋回・急制動は行わないこと。
● ユニバーサルジョイントを取り付ける場合、トラクタのエンジンを停止し、キーを抜き、駐車ブレーキをかけ、PTOのクラッチを必ずOFFにすること。

35 警告
飲料水源及び生物を飼育している湖沼からの直接給水は絶対行わないこと。
散布計画を立て、薬剤は余らないように作ること。

36 注意
トラクターにスプレーヤを接続し、一般公道を走行しないこと。
一般道路走行禁止
安全にケガをするため、安全装置を よく使いて結構の取り付を出来てから使用すること。
● トップリンクは可能で、しっかりとしも、確実に接続すること。
● 安全リンクにおいて取付けること。
● 安全リンクを決定し、きかーさた状態で作業しないこと。

37 三方コック取扱
排水
給水
散布

38 K薬液混合装置付き

薬液混合タンク取付要領
①薬剤タンク内に必要量の水を入れます。
②注水コック(A)、送液バルブ(B)、3方コック(C)を【停止】位置にします。
③トラクタのPTOを回し330rpmに合わせます。
④スイッチボックスのメインスイッチを【ON】にします。
⑤各ブーム/ノズルスイッチを【停止】、メインコックスイッチを【閉鎖】にし
⑥圧力の圧力を1.0～2.0の範囲に設定します。
⑦メインコックスイッチを【停止】にします。
⑧全てのブーム/ノズルスイッチを【停止】にします。
⑨注水コック(A)を下げ、混合タンク内へ必要量の水を注入します。
⑩薬剤ボトルを混合タンク内のノズルに差込み、薬剤を投入します。
⑪注水コック(A)を下げたまま、3方コック(C)を【洗浄】位置にし薬剤ボトルを洗浄します。
⑫洗浄終了後3方コック(C)を【停止】注水コック(A)を【停止】位置にします。
⑬送液バルブ(B)を【注水】位置にします。
⑭混合タンクが空になった、ら送液バルブ(B)を【停止】にします。

A 注水コック
B 送液バルブ
C 3方コック

39 ドレンロ